



東京多摩プロバスニュース

第 76 号

■事務局: 〒206-0021 東京都多摩市連光寺 3-31-3 滝川方 ■編集・発行: 広報委員会 2018. 1. 10.

■電話・FAX (042) 372-2238 ■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com>

ホームタウン多摩で楽しもう！

第 161 回 定例会

日 時 : 平成 29 年 11 月 1 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 2 学習室

出席者 : 27 名(会員数 28 名)

第 162 回 定例会

日 時 : 平成 29 年 12 月 6 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 2 学習室

出席者 : 25 名(会員数 27 名)

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



ごあいさつ



「古稀に思う」

明けましておめでとうございます。

唐の杜甫曰く、「人生七十古来稀なり」。いきなり私事で恐縮ですが、今年、「古希」を迎えます。多摩プロバスクラブで一番若手の私が古稀です。考えること多々あります。少なくとも若手のリクルートは私の役目ですね。

七十について、もう一つ有名な言葉があります。「子曰く、七十にして心の欲するところに従って矩を踰えず」皆様ご存知、論語です。「不惑」の年に考えました。「こんな見事な老人に成長できるのか、いや無理だ、でも志ぐらいどうだ」思案投げ首、いつの間にか“時”が来てしまいました。「やっぱり無理だ、冗談じゃない、孔子は偉い」

澤雄二副会長



しかし 30 年の時間は、どんな「生命(いのち)」になれば矩を踰えずにすむのか、教えてくれました。それは「生命(せいめい) 尊厳」の価値観ではないでしょうか。物理的な「生と死」ではなく、自己も他者も、その人

の持つ全ての個性の尊厳です。思想や考え方、趣味や嗜好等全人格の尊厳です。一つ分り易い例を挙げると、人を傷つけない、蔑まない、足を引っ張らない、温かく、優しく、理解する、思いやるなどです。大事なことは、道徳やルールによって自分の考え方を教育しないことです。それは二重人格を誘引する可能性があるからです。まさに生命の奥底から“心の欲するところ”になる必要があります。やっぱり無理です。孔子殿、もう少しヒントを下さい。

古稀の今年も、多摩プロバスクラブの発展と、多摩市の創生再生の実現に頑張るぞ。ファイト！



小野神社初詣に向かう人の列 2018 年元旦

1. 幹事報告

鈴木泰弘幹事

1.1. 事務局移転の件

新事務局：滝川益男会員宅

住所：〒206-0021 東京都多摩市連光寺 3-31-3

電話・FAX：042-372-2238

1.2. 第2回東日本ブロック交流会に参加 下記参照

1.3. 第13回多摩市中学生俳句大会表彰式

東京多摩ロータリークラブ主催の件名の表彰式が、12月16日(土)永山公民館ベルブホールにて行われました。約3,000句の中から、審査委員長賞はじめ多数の優秀作品の表彰が行われ、当クラブからも「東京多摩プロバスクラブ賞」の表彰を行いました。 関連記事4ページ参照

1.4. 東京日本橋プロバスクラブとの交流推進

吉田誠男氏に卓話を3月に依頼した。 下記参照

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

鈴木達夫委員長

1) 第161回定例会

東京八王子プロバスクラブとの交換卓話として同クラブ立川富美代氏による「懐かしの映画とその音楽」と題する卓話が行われた。 関連記事3ページ参照

2) 第162回定例会

大沢亘会員による「改正個人情報保護法」の説明、西村政晃会長による「創立15周年事業について」の意見交換が行われた。 関連記事3ページ参照

3) 今後の卓話・講話予定

- ・第163回定例会(平成30年1月)

講話「やさしい相続・遺産の話」

三井住友信託銀行多摩桜ヶ丘支店 中村裕康氏

- ・第164回定例会(2月)

卓話「一带一路と鄭和」 稲田興会員

- ・第165回定例会(3月)

交換卓話「江戸の歴史」

東京日本橋プロバスクラブ 伊場仙社長 吉田誠男氏

2.2. 研修・親睦委員会

秋山正仁委員長

1) 忘年会は12月6日(水)PM5:00より京王クラブで、東京八王子プロバスクラブ武田洋一郎会長他3名、東京日野プロバスクラブ奥修兵副会長ほか2名の参加をいただき盛大に行われました。

2) 研修セミナーとして1月10日(水)の定例会で「相続・遺言」のテーマの講話の依頼。



研修・親睦委員会の皆さん

2.3. 地域奉仕委員会

滝川道子委員長

1) パッククッキング出前講座；11月10日(金)こぶし館「貝取ふれあいサロン」防災懇談会のなかで実演・試食。参加者14名。

その後数人の方から「団地の方と集まってまた作ってみました」との報告をいただきました。

2) 「日本人のマナー」；11月24日(金)、多摩市立多摩中学校にて、「江戸しぐさ」と「礼法」の講演と実演。

対象；中学1年生 144名

来賓；世界各国の教育関係者 30名

担当の先生から生徒144名全員の感想文が届けられ、お1人おひとりの感想に感動しました。その感想文を市の教育委員会にお届けし、読んでいただいております。

2.4. 広報委員会

登坂征一郎委員長

1) プロバスニュース第76号編集と発行

会員各位から寄稿いただき、11月27日、12月26日、1月5日の編集会議を経て最終校正、校閲を実施、1月10日発行配布。

2) ホームページのリニューアル完了し、11月20日公開。

◆◆◆ 第2回東日本ブロック交流会 ◆◆◆

第2回東日本ブロック交流会

西村政晃会長

11月28日(火)、標記の交流会が盛況裡に開催された。参加クラブ数14、参加者は102名を数えた。当クラブからは西村会長以下7名が参加した。

会場は八王子エルシイ。昼食を取りながらの賑やかな交流会となった。

来賓挨拶は石森孝志市長他お二方。立川富美代実行委員長の挨拶、続いて参加14クラブの紹介の後、交流会になった。「クラブ自慢、ふるさと自慢余稿集」やスクリーンを使っの熱の入った活動報告が行われた。続いてバナナのたたき売りの大道芸で盛り上がった。

午後3時、参加者は再会を誓いながら会場を後にした。



写真上：当クラブ紹介の
西村会長

写真右：会場を沸かせた
東京八王子PCの下田
泰三氏の大道芸・バナ
ナのたたき売り



◇◇◇ 卓 話 ◇◇◇

11月1日(水)第161会定例会において、3クラブ交流の交換卓話の一環として、東京八王子プロバスクラブ 立川富美代氏に、グレン・ミラー物語のDVDを鑑賞しながら約2時間にわたり熱く語っていただきました。

「懐かしの映画とその音楽」

グレン・ミラー物語(The Glenn Miller Story)

東京八王子プロバスクラブ 立川富美代氏

1940年代、アメリカスイング全盛期、ジャズの歴史に新しいスタイルを確立し、人気を博したバンドリーダー・グレン・ミラー(トロンボーン)の夫婦愛にスポットを当て、人気絶頂期にドーバー海峡を飛行中に消息を絶ったミラーの劇的な生涯を描いた伝記映画。

「真珠の首飾り」「ムーンライトセレナーデ」「イン・ザ・ムード」などのヒット曲が、数々のエピソードと共に紹介されます。



ミラー役のジェイムズ・スチュアートは容姿がミラーそっくりで、彼を支える妻役のジューン・アリスンと共に心に沁みる名画であります。

音楽担当のヘンリー・マンシーニは名曲の数々を作曲し、アカデミー賞の作曲賞にノミネートされています。有名なルイ・アームストロングも特別出演しています。

・1954年 アメリカ映画 ユニバーサル・インターナショナル製作

・監督 アンソニー・マン、音楽 ヘンリー・マンシーニ

・主演 グレン・ミラー：ジェイムズ・スチュアート、

ヘレン・バーガー：ジューン・アリスン、

チャーミー・マクレガー：

ハリー・モーガン

・挿入曲 ムーンライトセレナーデ、タキシード・ジャンクション、茶色の小瓶、イン・ザ・ムード、セントルイス・ブルース、アメリカン・パトロール



◇◇◇ 意見交換会 ◇◇◇

意見交換会 2 題

総務委員会 大澤亘会員

◆1. 創立 15 周年記念事業について

当クラブが来年5月に迎える創立15周年の式典と記念事業の内容について12月定例会で意見交換を行った。プロバスの活動の記録を保存すること、式典の招待客を早めに検討することなどの要望があったほか、各会員の意見をメールやFAXで提出することとした。

◆2. 改正個人情報保護法への対応について

改正個人情報保護法の実施に伴い当クラブがこれにどのように対応するかについての総務委員会の提案が、9月と11月の理事会で検討され了承されたが、理事会の意向により定例会でもその内容を説明して会員の意見を求めることとなったので、12月定例会で下記の通り説明を行い、12月理事会までに意見を提出してもらうこととした。

- 1) 今年6月の前年度最後の定例会の席上、上田幹事から「5月30日から改正個人情報保護法が全面適用となり5,000人要件が撤廃されて、当クラブのような小規模団体も同法の適用を受けることになったので、その保護について一層の注意が必要です」との指摘がありました。そこで当クラブとしてこの問題にどう対応するかについて総務委員会で検討しました。
- 2) 旧法の実施から10年が経過し、その間、個人情報の大量漏洩や過剰保護などで、大きな社会問題にもなったことから、改正法では漏洩防止策が新たに導入され、また、個人情報の有効利用と個人情報の保護との調和をはかることが強調されています。さらに OECD や EU など海外

の個人情報保護政策との整合性をはかるための改正も行われました。

- 3) 改正法は現在の当クラブのように保有している個人情報は会員名簿だけという小事業者に対しても、①個人情報の取得の際にはその目的を伝えること、②利用の際にはその目的の範囲を超えないこと、③保管の際には情報が流失しないよう安全管理を徹底すること、を定めています。そこで当クラブとしては⑦入会申込書には取得目的を欄外に注記し、④会員名簿には利用目的外利用の禁止と安全管理の徹底を注記し、⑦個人情報取扱細則を新設し、④個人情報保護方針を制定し公表する、などを決めました。
- 4) 保有している個人情報を第三者に提供するときは事前に本人の同意を得ることが原則ですが、業務委託の場合は同意不要とされています。当クラブは会員名簿を印刷するときは印刷業者に発注しており、その際に原稿として会員名簿を提供しますが、会員の同意は不要となります。ただし、印刷業者の許で当クラブが管理するのと同様の管理が行われるよう監督することが求められているので、業務委託契約書を交わして、この義務を確実に履行することとします。



個人情報保護委員会の作成資料

1. 第13回中学生俳句大会表彰式 西村政晃会長



第13回多摩市中学生俳句大会の表彰式が12月16日(土)永山公民館5階ベルブホールで開催された。本年は2,829句(対象者の95%)という多数の応募があった。表彰式には由利審査委員長、阿部市長、清水教育長、小暮多摩ロータリークラブ会長、入賞者、各学校長、父兄等が大勢出席した。表彰は「審査委員長賞」、「市長賞」や多くの賞が次々と授与された。当クラブからは5名に「プロバスクラブ賞」を授与した。なお、当クラブは選考に当たって俳句サークルの「荻句会」を中心に一次選考から最終選考まで協力した。阿部市長は挨拶の中で「多摩市内の中学生の俳句は素晴らしい。さらに一層のレベルアップを期待する」と話された。

もっとも評価の高い俳句に送られる「審査委員長賞」は次の通りだった。

浮き輪だけプールに浮いて休憩中

諏訪中学校 鈴木琢磨

なお、「東京多摩プロバスクラブ賞」として以下の5句を選出して表彰した。

星月夜見上げて歩く熟帰り 青陵中学校 井上夏輝	人気なく風鈴だけが夜明け待つ 多摩永山中学校 伊野朱音	東大寺大きい仏汗かかず 聖ヶ丘中学校 大内一輝	蟬時雨起され気付く日の高さ 聖ヶ丘中学校 猪股誠也	祇王寺が秋の光に包まれる 東愛宕中学校 渡邊亮太	東京多摩プロバスクラブ賞
----------------------------	--------------------------------	----------------------------	------------------------------	-----------------------------	--------------

なお、1次選考を通過した作品は、1月25日～30日京王百貨店聖蹟桜ヶ丘店5階AB館連絡ブリッジギャラリーに展示される予定。

2. 市民茶会 阪東照子会員

11月12日(日)第13回多摩市民茶会が関戸公民館8Fで行われ、濃茶薄茶席の他に、小西加葉子委員は、煎茶席を受け持った。

大会議室の広い壁床には黄檗七代悦山禅師の書を掛け、渡り物の玉管、香炉、文房一式等見事な道具組で、短時間には観賞しきれない品々であった。中でもクリスタル回転式砂時計はスワロスキーと説明があり、一流美術館の展示会のようで来客163名余りの人々を喜ばした。

阿部市長、関戸公民館長も来訪され小西席で、芦屋シェゼットから取り寄せたマドレーヌとプリンスオブウェールズと名のある紅茶を楽しまれた。

私は受付を担当。朝方は時雨でいたが昼には好天気となり、お洒落して来てくださるお顔馴染みにもお会いでき、人の流れもスムーズ、トラブルもなく好日。裏方の御苦労の程も察し、感謝の一日を終えた。



3. 忘年会 秋山正仁研修・親睦委員長

12月6日(水)第162回定例会終了後、恒例の忘年会を京王クラブにて立食パーティー形式で開催いたしました。出席者は、会員・会友24名と東京八王子プロバスクラブより武田洋一郎会長他3名、東京日野プロバスクラブより奥修兵副会長他2名参加されました。

今年の忘年会では、司会は小西研修・親睦副委員長に進めていただき、開会の挨拶は筆者の私が行い、引き続き来賓の紹介と挨拶をいただき、次に西村会長が挨拶と乾杯の発声をお願いしました。歓談・懇親とともにカラオケへと進み、八王子プロバス、日野プロバスの方々も活発に唄い、多摩プロバスは、毎月第三金曜日が「歌を楽しむ会」の練習日とのこと、元気いっぱい盛り上がりしました。最後に、堀内陽二会員の発声で過日ご逝去された当クラブの岡野一馬様への献杯とご冥福を祈りながら中締めを執り行いました。



岡野一馬さんを偲ぶ

岡野会員が11月15日急性白血病にてご逝去され、あまりにも突然のことで驚きと悲しみが一気に込み上げてきました。私は多摩市国際交流センター(TIC)からの20年以上のお付き合いをさせていただき、15年前当時多摩ロータリークラブ副会長の要職に就かれておられ、翌年創立35周年を迎えるにあたって、新規事業として「多摩プロバスクラブ」の設立を検討され、岡野さんと小西さんのご主人が中心となり設立準備をされました。TICの関係から私は岡野さんからプロバスクラブの設立のお話を伺い賛同して参加しました。また、TICメンバーであった登坂・鴻池・滝川・平松さんなどの方々と岡野さんと一緒にお誘いし、翌年5月多摩ロータリークラブ設立35周年記念式典で「東京多摩プロバスクラブ」設立の披露がなされました。設立会員として16人の方々が集まり、まさに岡野さんは多摩プロバスクラブの産みの親でした。

以下、会員各位の偲ぶ言葉。(五十音順)

秋山正仁；岡野さんとの出会いは30年前多摩市文化振興財団の評議員を2年間一緒にさせていただき、多摩の文化の情報をよく発信してくださいました。感謝しています。

稲田興；14年程前、TICで中国語を共に勉強させて頂いてからのお付き合いで、思慮深く温厚な人柄に惚れ、甘えさせて頂きました。深感哀痛、大家会永遠懐念岡野先生的。

上田清；創立5周年時に会長と幹事のコンビで楽しく過ごしたこと、また魚釣りや旅行など沢山の思い出、ありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

大澤亘；創立5周年の公募美術展、東京湾のハゼ釣り、多摩やシルクロードの数々のスケッチ、仕事を理事会会場に提供など忘れがたい思い出です。温厚誠実な方でした。

神谷真一； 思い出のハゼ釣り竿が柵内 虎子
岡野さんとの釣り、道志川に山女釣りに行きました。釣れる場所を知ってる岡野さんにかないませんでした。

北村克彦；上高地に旅した時、絵筆の代わりにハンカチでスケッチされていたこと描かれる絵の柔らかなタッチ、そしていつも笑みを浮かべて話される顔が偲べれます。

倉賀野武士；ひと粒は駆ける流馬が冬銀河 志水
岡野さん(排号流馬)のみたまはシルクロードの上空を飛び画集続編のスケッチをしていることでしょう。

小西加葉子；35年前、岡野さんにPTA主催の父親懇談会の司会をお願いした時、ニコニコ顔でした。最後の例会で私に話しかけてくれた岡野さん、ステキな笑顔でした。

澤雄二；入会推薦者が岡野さんでした。もっともっと色々なことを教えて頂きたかった。残念です。悔しいです。12

中村昭夫会員



月に尾道に行ってきました。安らかにお休みください。

鈴木達夫；特老の竣工祝いで北欧3国の福祉施設視察団として参加、白夜のバルト海客船で酒を酌み交わせた事が今でも目に浮かびます。ありがとう。神に合掌。

鈴木泰弘；シルクロード、イタリア、尾道、矢切の渡し場、美術展……ああ！！これから、見たり聞いたりする度に、優しい笑顔の岡野一馬先輩を思い出すでしょう。

高村弘毅；2004年に「シルクロードとオアシス展」をオーパで共催し、深い思い出を作っていました。誠にありがとうございました。衷心より冥福をお祈り申し上げます。

滝川益男；釣り好きな岡野さんでした。ある夏、南アルプスに残雪を踏み分けて釣り歩き、尺イワナを上げて「生涯の最大魚だ！」と喜ばれた時の笑顔を忘れられません。

滝川道子；TICの理事会で初めてお会いし、その御縁あってプロバスに入れて頂きました。いつも笑顔で奥様共々ご親切に頂きました。ありがとうございました。

登坂征一郎；プロバスの創始たたえん冬薔薇 爽風
岡野さんのご尽力で当クラブの今があります。柔和な笑顔と水彩の素晴らしい筆のタッチが偲べれます。

永田宗義；岡野さんと顔を合わせればお互いの絵画と写真の趣味の話、奥深き絵画の描写ポイントの素晴らしさを聞かされ感動したこと思い出します。ご冥福をお祈りします。

西村政晃；私は岡野さんと中村さんの推薦で多摩プロバスクラブへ入会させていただきました。深謝いたしております。岡野さんの優しい笑顔忘れません。

阪東照子；孫娘ハグが照れると好好爺

顎髭の白くなったと上げて見せ 浮草

私より三つ年下愛しまる。もう逢えないの、悲しい。

藤寄喬子；過去数度、たまたま立ち寄る絵画展で目を引かれ覚えた作者岡野一馬氏の名前。幸の会でも存じ上げしており、プロバスでお会いして驚嘆。笑顔大好きでした。

古澤靖雄；当クラブ創設準備期の入会面接席で、推薦人二人と試験官役の岡野さんと二日酔いする程プロバスの夢を語り飲み明かしたことを思い出します。

堀内陽二；何時お会いしても、にこやかに正に悠々そして堂々とすごしておられたあのお姿は忘れることができません。どうぞ安らかに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

増山敏夫；磊落で常に周りに人の輪ができる大人、人生の達人でした。酒友として或は句友・画友として、また鶴のトルコの旅の旅友として楽しい時間を感謝します。

村上伸茲；岡野さんが(当時会長)定例会などの卓話のとき、人間の暖か味を取り上げて欲しいと提案された。人間性の卓話は大変勉強になりました。

山田正司；旧水戸藩士の気骨を備え、尾道文化で育った実に志しの高い人でした。半世紀にわたりお世話になった最も敬愛する先輩に心からの感謝をこめて合掌します。

◇◇◇ 東京日野プロバスクラブの紹介 ◇◇◇

近隣プロバスクラブとの交流会をはじめ、卓話やゴルフ、囲碁、俳句などの交流がなされるようになり、相互のクラブの活動に関心をもたれるようになってきました。相互の関心を深めるべく近隣プロバスクラブのプロフィールを紹介させていただきます。今回は東京日野プロバスクラブです。

東京日野プロバスクラブは、2010年9月16日に東京日野ロータリークラブと東京飛火野ロータリークラブのスポンサーのもとに創立されました。

研鑽・親睦には地域の著名な方を講師に招いて、広く地域社会に目を向け、会員の貴重な体験の卓話や、国立西洋美術館はじめ外部の見学などの研鑽をされています。

また、地域奉仕活動では、日野市まちおこし協議会との連携で「ひの新選組祭り」「高幡もみじ灯路」などへの協力・支援、社会福祉法人への支援、放課後子ども教室支援(吹き矢)、多摩川・浅川クリーン作戦への参加など、地域に密着した活動を展開されています。

*会長；小西弘純氏 副会長；奥 修兵氏

幹事；宮地公平氏、 副幹事；小島康義氏

*例会；毎月第3木曜日 *会員数；41名

*会場；高幡不動尊 客間殿、

*事務局；〒191-0011 東京都日野市高幡3-8

田中ビル3階、東京日野ロータリークラブ内

*例会のプログラム

・開会	例会委員長
・会長挨拶、お客様紹介	会長
・幹事報告	幹事
・委員会報告	各委員長
・新入会員紹介	会員委員会委員長
・同好会報告	各同好会
・ニコニコワンコインの紹介	提供者
・卓話・講演	内外講師
・誕生日祝い	会長
・プロバスソング斉唱	例会委員
・閉会	副会長

*会報；毎月発行

内容；例会、幹事報告、会長スピーチ、ハッピーコイン、寄稿や同好会便り等

*ホームページ；

<http://www.hinopc.com>

◇◇◇ 多摩市民文化祭 ◇◇◇

第40回多摩市民文化祭を終えて 堀内陽二会員

多摩市と多摩市文化団体連合(文団連)主催の多摩市民文化祭、今年も10月13日オープニングセレモニーに始まり11月12日までの一か月にわたり市内各所で開催されました。特に今回は40回という一つの節目を迎え11月3日文化の日にはパルテノン多摩において「40th Anniversary」と銘打っての記念のお祭りを行いました。まずはスペシャル文化人として数学者にして大道芸人というピーターファンクル氏の「人生を豊かにする方程式」と題したトークショーに、お得意のジャグリング芸の披露もありました。

次いで記念式典として阿部市長はじめ市の関係者やご来賓の方々と文団連各団体の代表者の皆様ご一同ステージにてご紹介やご

挨拶がありました。そして式典のあとは本企画の目玉である特別記念公演「ふるさと多摩」を上演しました。石器時代、縄文時代から多くの人々が住んでいた多摩(今も昔もこの多摩の地は住みよいところなんですね)。人々が生活し学び、高度な文化活動のあった古代から現代までの歴史をたどり、音楽と舞で語り継ぐ舞台は文団連ならではの演出プ



演壇上の筆者(文団連理事長)

ログラムとして見ていただいたと思っています。

お天気も良く外の大階段下では、さまざまなパフォーマンス(和太鼓演奏や歌やダンス・少年少女たちの合唱・ブラスバンド演奏・屋台など)もあり、館内ロビーではお琴の演奏の中、茶道の皆様による呈茶おもてなしあり。今回の文化祭のキャッチフレーズである「楽しもう！40回目の文化祭を！」で、文化祭期間中の参加者は延べ約1万4千名のご来場でした。

◇◇◇ 醍醐寺の献茶 ◇◇◇

醍醐寺の献茶式

阪東熙子会員

11月21日(火)京都伏見の醍醐寺(世界文化遺産)に於いて武者小路千家家元の献茶があり、筆者が参加した。

献茶は国宝の金堂で、濃茶は非公開の重要文化財である純淨観で行われ、薄茶の白書院、点心の修証殿共に重厚で、各部屋の襖絵がまた素晴らしく見取れるばかり。

貞観16年(874年)の建立以来、醍醐・朱雀・村上帝の厚い信仰が寄せられた経緯などを知るにつけ、関東には無い歴史の重みを感じた。来年は表千家のご奉仕と伺った。



白書院にて

ボルネオ紀行

稲田興会員

ボルネオ島は世界で3番目に大きな島で3か国（インドネシア・マレーシア・ブルネイ）が分割統治している。

この島に興味を懷き今回の旅行の目的としたのは、永遠に平和な国といわれるブルネイの実態を確かめたかったことと世界最大の花「ラフレシア」を鑑賞したかったことである。

◇永遠に平和な国ブルネイ見聞

正式国名はブルネイ・ダルサラームと言い、国名自体が「永遠に平和である」という意味である。国土面積は三重県程度で、人口は約40万人の小さな国であるが石油・天然ガスの地下資源に恵まれ、一人当たりのGDPは日本の2倍ほど。常に世界ランクのトップグループを堅持。石油や天然ガスのほとんどを日本に輸出しており、その意味では日本がこの国の豊かさを支えているともいえる。

太平洋戦争突入後いち早くこの地を日本が占領(1942-45年)し石油を確保したが、戦後は再びイギリスの植民地に戻り、独立したのは1984年と周辺の国々より遅い。立憲君主国で、国王に権限も富も集中している。

空港は一か所だけで国際線のみ。高層ビルはなく(モスクより高い建物は建てられない)、繁華街もなく、ショッピングモール程度。一家に2台以上の車があるそうで、東南アジア特有のバイクや自転車が見当たらない。道路は広く、渋滞も無い。国の中心地であるバンダル・スリ・ブガワンも小さく、行政区や商業地区を含めて2時間もあれば歩いて回り切れる。国土の7割は熱帯雨林。

治安が良く、静かな佇まいで、目立つのは豪華な王宮とモスク。乗ったタクシーはすべてトヨタ製で、車のほとんどが日本と韓国からの輸入だという。ガソリンはリッター50円程度。公共料金も安い。戸建て住宅は皆立派だが、面白いことに水上生活者が国民の1割程度いて、世界最大級の集落(3万人)を形成し、600年もの歴史を持つ。外見は

みずばらしく見えるが住居環境は結構整っていて、電気・水道完備、家々の間は渡り廊下で繋がっている。学校は7つもあり、警察や消防署・モスクもある。

税金は全くなく、教育費や医療費もタダ!入院してもどんな手術を受けても費用負担なしというのは魅力的である。物価はシンガポール並みで結構高い。人は皆親切で人懐っこい。

王室宝物館を観覧したが、入場料は勿論タダ。ここには世界各国の要人が訪問した際の贈り物とサインが展示してあったが、日本からは森喜朗元首相のサインと有田焼の大きな壺が飾られていた。



王宮はバチカン宮殿より広く部屋数なんと1,788室、働くスタッフ千人を数える。内外を世界最強のグルカ兵が守る。

国王の名前を冠した新しいモスク(左図)は5千人収容可能。兎に角、豪華絢爛たる建造物だ。

豊かで平和な暮らしだというのが、果たして住んでみたいかと問われると、私はNO!だ。敬虔なイスラム教



国で、コーランの教則に縛られること、食べ物が合わないし、アルコール類が一切売られていないことが主な理由。

2泊3日の滞在で十分その実態が把握できたかどうか分からないが、穏やかで安全で平和な暮らしをしていることだけは確かなようだ。

◇幻の花「ラフレシア」を探して

ボルネオ島は7,900種以上もの植物が生息しており世界屈指の生物多様性を誇るが、その頂点に君臨するラフレシア。ウツボカズラも有名。東マレーシアのコタキナバルに午後到着し、ホテルに荷を解くなり、事前に調べておいた旅行会社に出掛けた所、幸い日本語の達者なガイドがいたので、ラフレシアの開花状況とその場所情報の提供を依頼してホテルに戻る…と幸運なことに2日前に開花したという知らせが飛び込んできた。何しろ開花期間が3・4日という花。翌朝チャーターした車にガイドを乗せて喜び勇んで出発。場所は東南アジア最高峰キナバル山(標高4095m世界自然遺産)の麓、ジャングルの中という。生憎曇り空で山の頂は見えない。キナバル公園の入り口(標高1500m)までは舗装されていたが片側一車線で上り下りの多い坂道。最後は四駆で悪路を駆け登り、2時間半後に一軒の農家に辿り着いた。その女性が密林の中に案内してくれて……

「あつた!」写真では見ていたが、実際には「これが花?」という思いが第一印象。地上にデーンと巨大な毒キノコが横たわっているという感じ。茎も葉もない寄生植物なのだ。

しかしちゃんとメシベとオシベがあり5弁の花びらを持つから、花なのだろう。世界最大の花と言われ、直径が1.3m程にもなるというが、私の

見たものは90cmと70cm程。一度に2つも鑑賞でき、さらに蕾も見付けたことで“幸運な男”と言われた。花言葉は「夢現」、確かにこの世の物とも思えない代物だった。現地は今は雨季、帰る道すがら土砂降りのスコールに見舞われた。



◇◇◇ 私のシャッターチャンス(3) ◇◇◇

さった峠からの富士

平田哲郎会員

これは、富士山の自然美と交通動脈に象徴される文明の美とを対峙させた一枚である。

この舞台である静岡市の郊外、由比・興津地区は静岡湾に突出する山裾にあり、かつては親不知と並び称された東海道屈指の一大難所であった。このため山手を回る街道としてさった峠が開かれ、そこからの富士の景観は歌川広重の“東海道五十三次・由比さった嶺”として夙に有名であり、現代では富士山と国道一号・東名高速・JR 東海道本線を束ねた日本の大動脈を対峙させたスペクタクルとして写真家のメッカとなっている。小生も十数年前、由比海岸をドライブした折、街角で“さった峠への近道”の案内表示を見かけ、急遽、急坂の小道を登って行ったが、断崖をのぞむ狭い山道の連続で危険を感じ登坂を断念した悔しい思い出があった。その後、平成26年1月下旬、新東名自動車道の開通が報じられた折、清水インターからさった峠への道路が整備されたというニュースを偶然発見し、早速その日の午後車を飛ばして、峠からの撮影に成功したのがこの一枚である。

撮影にあたっては、夕景の富士の露出と東名高速を疾駆する車のテールライトの光跡と長さの露出を設定するのに苦心した。また、シャッタースピードは5秒にセットし、光跡の長さを調整した。



◇◇◇ ハッピーバースデー ◇◇◇

11月誕生日を迎えられました！



左から
倉賀野武士会員
村上伸茲会員

東京多摩プロバスソング
作詞 池田 寛
作曲 中村 昭夫

聖の桜仰ぎつつ 多摩の流れに身を清めて
緑の杜に囲まれた わが故郷の行く末と
社会奉仕に力をそそぐ
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

霊峰富士を仰ぎつつ 心の業を磨き合い
豊かな知識身につけて 次の世代の若人の
教え導く糧となる
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

当クラブの活動は各会員の知識や経験を通して様々な活動を行ってきました。

この1年の当クラブの活動として大きなイベントは鎌倉プロバスとの交流、全日本プロバス東日本ブロック大会が開かれ各地のクラブとの交流ができたことです。これらの交流を通してそれぞれのクラブの活動を知ることができ、今後の当クラブ活動の参考になればよいと感じました。

これからの当クラブの活動では当クラブソングの歌詞にあるように、「社会奉仕に力を注ぐ」、「次の時代の若者を教え導く糧となる」を目指して活動をさらに広げて行き、新しい年を迎えさらに前進した活動ができるよう会員の皆さまの知恵を絞って進めてゆきたいものです。

今月のニュースでも大きく取り上げられていますが、当クラブ創立の責任者であった岡野一馬さんが急逝され、多くの会員から「偲ぶ思い」が語られています。岡野さんは当クラブ設立4年後に当クラブに加入され、その豊かな人格と経験を通して会員に多くの刺激を与えてくれました。謹んで哀悼の意をささげます。

(広報委員 中村昭夫記)